

日光国立公園

岩と水の公園

龍王峡

Ryuoukyo ハイキング



龍王峡ハイキングコース の主なみどころ

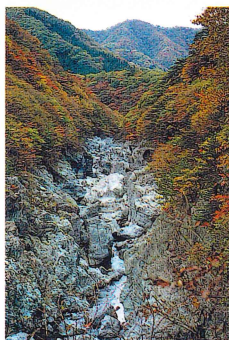
1 五龍王神社

虹見の滝を見下ろす断崖上に立つ五龍王神社。ここには鬼怒川、川治ふたつの温泉の守護神、御神体龍神像がまつられています。現在は地元の氏神として崇められています。



2 虹見の滝

案内板に導かれ小道を川岸においていくと、瀑布音が響いてきます。ここが鬼怒川と野沢の合流点、虹見の滝。その名のとおり、晴れた日には陽光にきらめいて、美しい虹が架かります。



3 堅琴の滝

優雅な名のとおり、まるで堅琴の弦のように清らかな水が幾筋にも分かれて流れていきます。小さな滝に想う風流な音色。やさしい旅情に包まれて、今日はどんな調べが聴こえてくるのでしょうか。

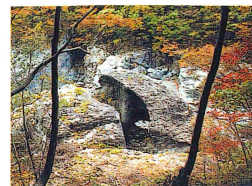
4 むささび茶屋

歩き疲れたら、むささび茶屋で道草のひとつときを。四季それぞれの風情を眺めながら、名物の味噌おでんや甘酒などに舌鼓を打てば、龍王峡まるかじり気分にとられること受けあいです。



5 大観

ここに立つと視界いっぱい、様々な表情の岩々が映ります。文字どおり迫力みなぎる大きな景観。見渡せば、気宇壮大な心地になるに違いありません。



6 五光岩

岩の下部にぽっかりと穴が空いた五光岩。火山灰が堆積して造られた硬軟不均一の凝灰岩で出来ています。そのため流水による浸食度合に差が生じ、現在の様な奇石が形成されました。岩面が五色に見えるとの由来からこう名付けられています。

7 兎はね

かわいらしい名がついたこの付近の河床は、幅4メートル程の狭い廊下状になっています。兎も飛び跳ねて渡れそうな川幅であることからこう呼ばれるようになりました。



8 かめ穴

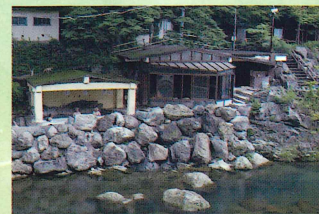
これはその昔、この部分がまだ河底だった頃、穴になっている部分の岩質がまわりより軟らかかったため、渦巻の流れの中で石が臼の働きをして穴を造ったものです。

龍王峡周辺のみどころ

川治温泉薬師の湯

川治温泉にある市営の共同浴場です。男鹿川沿いにあり、清流の流れや山並みを眺めながら温泉を楽しむことができます。龍王峡を散策してから入る温泉は、最高のひと時を味わうことができます。

営 10時～20時 休 水曜



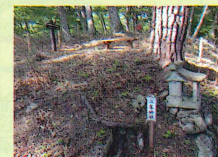
川治温泉薬師の湯キャンプ場

龍王峡の最終地点にあり薬師の湯に併設する市営のキャンプ場です。鬼怒川と男鹿川が合流する“川治ゆまま”に面し、自然豊かで静寂なキャンプ場です。また、カヌー体験やパーベキューなどデイキャンプにも最適な施設です。

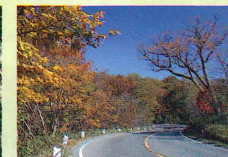
営 通年営業 予約 ☎ 0288-78-1177



むすびの湯



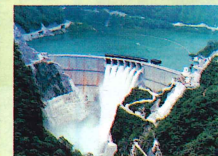
浅間山遊歩道



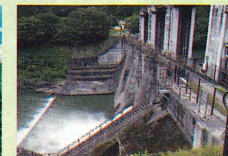
日塩もみじライン



五十里ダム



川治ダム



小網ダム

川治・龍王峡

- ハイキングコース
- コース区間
- 遊歩道
- トイレ
- 施設・名所
- バス停
- 駐車場

区間早見表	
区間	時間
AからBまで	10分
BからCまで	20分
CからDまで	30分
DからEまで	30分
EからFまで	30分
FからGまで	30分
GからHまで	30分

岩と水の大景観、これぞ、自然の芸術品！

新緑から紅葉まで四季折々の渓谷美でハイカーを魅了します。

龍王峡拡大MAP

この拡大マップは、龍王峡の主要な見どころを詳しく示しています。4からHまでの区間が色分けされており、ハイキングコースのルートが明確に示されています。また、トイレ、バス停、駐車場の位置も確認できます。

川治湯元駅にエレベーターが設置されています。

急カーブ車に注意

川治温泉薬師の湯 キャンプ場

道路横断車に注意

トンネル内車注意

ハイキングコースは、道なりに舗装道がおすすめです。

分岐点注意

かめ穴は昔まだ河底だった頃に岩の柔らかい部分が水や石によって浸食して出来たものです。

白岩半島はハイカーの疲れを癒してくれる休憩ポイント。記念写真には絶好の場所。

大観は全国観光地百選渓谷の部で第5位に輝く程の絶景。「五光岩」「鬼はね」の逆形美にも心を打たれます。

むささび橋は龍王峡で最も眺めが良く、眼下に広がる景観は鳥をのむ程。

虹月の滝は落差の大きい急流で、晴れた日にはほとばしる水しぶきの上に美しい虹が架かります。

龍王峡の起源

今から2200万年もの昔、海底火山の活動によって噴出した火山岩が鬼怒川の流れによって浸食され、現在のような景観になったとされています。その名の通り、まるで龍がのたつ姿を思わせるような迫力は、山間のいで湯、川治温泉と鬼怒川温泉の間、約3キロにおよびます。昭和25年8月、この辺一帯の深谷を「龍王峡」と名付けられ、鬼怒川・川治陣一の景勝地として知られるようになりました。

消防誘導標識案内板

Call 119
携帯電話で119誘導標識〇番と通報して下さい。

救急〇救助
Ambulance Rescue
日光市消防本部 消防センター
TEL.0288-21-0016

ハイカーのみならずハイキング中に気分が悪くなった場合は、携帯電話等で、その時の状況とともに、近くにある表示板の番号を119番通報して下さい。消防隊員が場所を特定して出動します。ご協力をお願い致します。

龍王峡の遊歩道は「自然研究路」です。野生動物(クマ、ヘビなど)や害虫(ハチ、ヒル等)に十分注意してください。

お問い合わせ

日光市藤原観光課
TEL 0288-76-4111
E-mail: kankou-fujihara@city.nikko.lg.jp

1~8 龍王峡ハイキングコースの主なみどころ